

● 2012年（平成24年）10～12月

1 社会・治安情勢

11月13日、内閣が石油製品に対する補助金の削減を決定し、燃料価格が値上げされることとなったことにより、同日以降、国内各地において抗議行動が行われ、負傷者70名以上、死者3名を出した。

(1) 11月30日、約7,000人の活動家が政治改革及び燃料価格値上げに抗議するため、内務省サークルに集まった。

(2) 12月、11月の抗議行動において、暴力的抗議に加わり拘留されている者の釈放を求めて、各地で抗議行動が行われた。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 11月14日から18日までの間、価格値上げに伴う過激な抗議行動に乗じてアンマンと死海を結ぶ道路上において、同所を通行する車を止め、所持金品を強奪したとして18人のうち、容疑者9人が逮捕された。警察はこれまでに同様の被害届を19件（内5件は女性）受理している。

(2) 当地外交団からの情報によると、アカバにおいてサイクリングをしていた外国人が投石をされたり、外国人の車のタイヤがアイスピック様の物でパンクさせられた事案が発生している。

(3) 邦人被害事案

10月23日午後8時から24日午前8時までの間、アンマン市内の8サークルとシティモールの間にあるアパートの地下駐車場において、在留邦人が駐車していた車の三角形部分の窓ガラスを外され、車内を物色された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

10月21日、ヨルダン当局は、11名のアル・カーイダと関係があるテロ容疑者（ヨルダン国籍）を拘束した。これらのテロ容疑者は、シリアから入手した武器・爆発物（含、迫撃弾）を使用してアンマンのショッピング・センター、カフェ、外交団の複数を標的としたテロ行為を画策していた。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

(了)